



「ジャパンレッド」発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋— ⑳

日本遺産に認定された「『ジャパンレッド』発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋—」のストーリーを構成する文化財を紹介します。

「^{こうふながやあと}鉦夫長屋跡」 未指定記念物(遺跡地)

鉦夫長屋は、銅山の労働に従事した鉦夫たちの居住家屋です。江戸時代後期の「吉岡銅山絵図」(津山郷土博物館所蔵、享和2(1802)年作成)には、幕府が設置した「吉岡銅山役所」(現吹屋小学校跡地)の周辺に、周囲を柵で囲われた「吹所」(製錬場)や「吹捨カラミ」(製錬のカス捨て場)、また町並みの周辺には「稼人居所」(鉦夫長屋)が建物の屋根を表現したと思われる記号で記載されています。

その一つである白石地区の鉦夫長屋跡には、吹所へと続く坂道の両側に長屋が建っていたことをしのばせる数段の石積みが残っています。

吉岡銅山の鉦夫を含む労働者数は、^{いづみや}泉屋(住友)が経営していた^{じょうきやう}貞享2(1685)年は635人、三菱経営下の明治39(1906)年には1051人にのぼり、まさに銅山は吹屋の基幹産業であったことを物語っています。



☎高梁市日本遺産推進協議会事務局(日本遺産・歴まち推進室) ☎ 21-0257



吉岡銅山絵図(部分)



鉦夫長屋跡(吹屋白石地区)

高梁2025 “地域医療はまちづくり” ⑰

「高梁2025」は、持続可能な地域医療体制の構築に向けた取り組みの総称です。



^{ふじいけん}藤井健人 医師 (高梁中央病院)

出身地：岡山市 出身大学：岡山大学 (外科専攻)

医師を志したきっかけ：幼いころ病弱で病院にかかることが多く、将来自分も患者さんの役に立ちたいと思ったからです。

勤務しての感想：スタッフの皆さんが優しく親切で、非常に働きやすい職場です。

今後の抱負：患者さん一人一人のニーズに応えることができるよう邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

^{あらかきじやう}荒木晴 医師 (成羽病院)

出身地：岡山市 出身大学：広島大学 (小児科専攻)

医師を志したきっかけ：弟が「総肺静脈還流異常症」という疾患を持って生まれたことでした。出生後すぐに手術をし、元気に成長していく姿を近くでみて、医師のすごさを肌で実感し医師を目指しました。

勤務しての感想：優しく温かい人たちばかりで、とても働きやすい環境だと感じています。

今後の抱負：高梁市の医療に少しでも貢献できるよう、患者さん一人一人に寄り添った医療を心掛けていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。



高梁市で働く地域枠医師について

岡山県は、岡山大学などの医学部に「地域枠」を設け、卒業後に県内で医師が不足している地域へ「地域枠医師」を派遣する制度を実施しています。市内の医療機関にも定期的に地域枠医師が派遣されており、令和4年度には新たに2人が派遣されています。

☎地域医療連携課 ☎ 21-0304

市ウェブサイト「高梁2025～地域医療の高梁モデル構築に向けた100の検討とアクション～」にこれまでの議論の内容などを掲載しています。

